平成29年度 経営支援事例報告書

[テ - マ]

支援区分	経営革新	
支援テーマ	刺しゅう精度向上とオリジナバ	レデザイン刺しゅうによる付加価値向上計画支援

【企業の概要】

名 称	西本工芸	創業年	1990年
代 表 者	西本 誠	業種	刺しゅう業
商工会	若桜町商工会	(取扱い商品等)	学生服等の刺しゅう

【支援の概要】

1. 相談の経緯

顧客ニーズに対応するための高性能刺しゅう機導入に向け、資金調達の相談を受けたことがきっかけとなり、新たに付加価値の高いオリジナルデザイン刺しゅうを行う等の計画があったことから、経営計画作成と経営力向上計画申請を提案した。

2. 経営課題

学生服や企業の制服のロゴマーク等の刺しゅうを専門に行う他、和装小物の刺しゅうを行っており、安定した売上を維持しているが、既存刺しゅう機では対応できない精度の高い刺しゅうニーズが増えており、これに対応することが求められていた。

また、最近増えてきた個人顧客のニーズをもとにした、オリジナルデザイン刺しゅうへ対応し、付加価値の向上と後継者へ事業を引き継ぐための基盤づくりを行うことが課題であった。

3. 支援内容

- (1) 設備投資に係る資金調達支援
 - ・高性能の刺しゅう機導入のため、マル経融資の活用による設備資金調達支援を行った。
- (2) 生産性の向上と高付加価値商品の開発に係る経営計画の作成支援
 - ・顧客ニーズを整理し、生産性向上による既存顧客の満足度向上とオリジナルデザイン刺しゅ うによる新規顧客獲得に向けた取り組みについて、経営計画作成支援を行い、経営力向上計 画と県版経営革新計画の申請を行った。
- (3) オリジナルデザイン刺しゅう商品の開発支援
 - ・若桜町のお土産物品商品開発事業を通じて、若桜町の地域資源である S L 等をモチーフにしたオリジナルデザイン刺しゅうの商品開発を支援した。

4. 支援の成果

- (1) 設備資金の調達により、刺しゅう機を円滑に導入。
- (2) 刺しゅう機導入後の売上は前年比 1.4%増加し、刺しゅうデータ作成に係る外注費は約 700 千円削減。
- (3) オリジナルデザイン刺しゅうが可能になり、若桜町の 新たな土産物品として商品開発が実現し、今後販売予 定。(SL刺しゅう入りタオル、エプロン等)

5. 成果物等の写真





SL 刺しゅう入りのタオルとエプロン

6. 事業者の声

経営計画作成にあたって後継者となる息子と対話が増え、今後控えている事業承継への準備を進めることができました。経営計画の実行と合わせ後継者育成についても支援を受けたいです。

【報告者】

センター	東部商工会産業支援センター	担当者名	中村	明子
------	---------------	------	----	----